

伊藤一隆 いとう いさお 禁酒運動家。安政六年二月十二日江右生まれ、昭和四年歿（一八五九—一九二九）。舊姓平野。明治五年開拓使假學校入學、アメリカ人教師A・G・ベーツの英語と普通學を學ぶ傍ら、野球用具と球技の指導も受けたといふ。七年官費生として札幌農學校入學、次で受洗。十二年卒業して官界に入り、開拓使御用掛として主に水産業務を擔當。二年間アメリカ視察、歸國後豊平川の支流千歳川の鱒の孵化場を設け、人口孵化の開拓者となつた。また禁酒運動家としても知名で、十九年禁酒雜誌『護國の楯』を發刊、二十一年には安藤太郎と相謀つて全国各地の禁酒二十餘團體を糾合、日本國民禁酒同盟を結成した。この機關誌『禁酒之日本』を創刊。翻譯家松本惠子の父。

著書に『屋内遊戲・上（遊戲篇）』（昭和二年十一月五日世界文庫刊）行會「世界文庫」等。江原小彌大編『伊藤一隆』（昭和五年一月一日木人社）がある。

